

# 二の丸角櫓



水戸市

## ◆復元根拠資料

**発掘調査** 平成22(2010)年と平成23(2011)年に実施した発掘調査で、礎石や瓦などが出土しました。特に、三つ葉葵紋鬼瓦がほぼ完形で出土し、同型の瓦を復元しました。

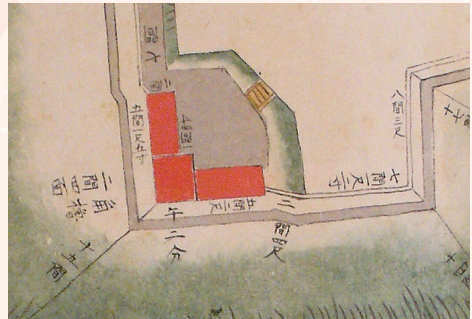


発掘調査出土礎石



三つ葉葵紋鬼瓦

**史資料調査** 二の丸角櫓付近の実測図や、水戸城の建物を描いた絵画などを参考に、復元する位置や規模、入母屋破風の向きを決定しました。



水戸城実測図 所蔵：茨城県立図書館



水府城楼閣図(立原杏所画) 所蔵：水戸市立博物館

## 施設のご案内

復元された二の丸角櫓内部の見学ができます(二の丸角櫓へは、茨城大学附属幼稚園・小学校と県立水戸第三高等学校の間にある歩行者通路をご利用ください)

**開館時間** 午前9時30分から午後4時

**休館日** 12月29日～1月3日

**入館料** 無料

※駐車場は水戸大手門広場の駐車場をご使用ください。



## すみやぐら ❖水戸城と二の丸角櫓

水戸城は、水戸藩 35 万石を治めた水戸徳川家の居城です。

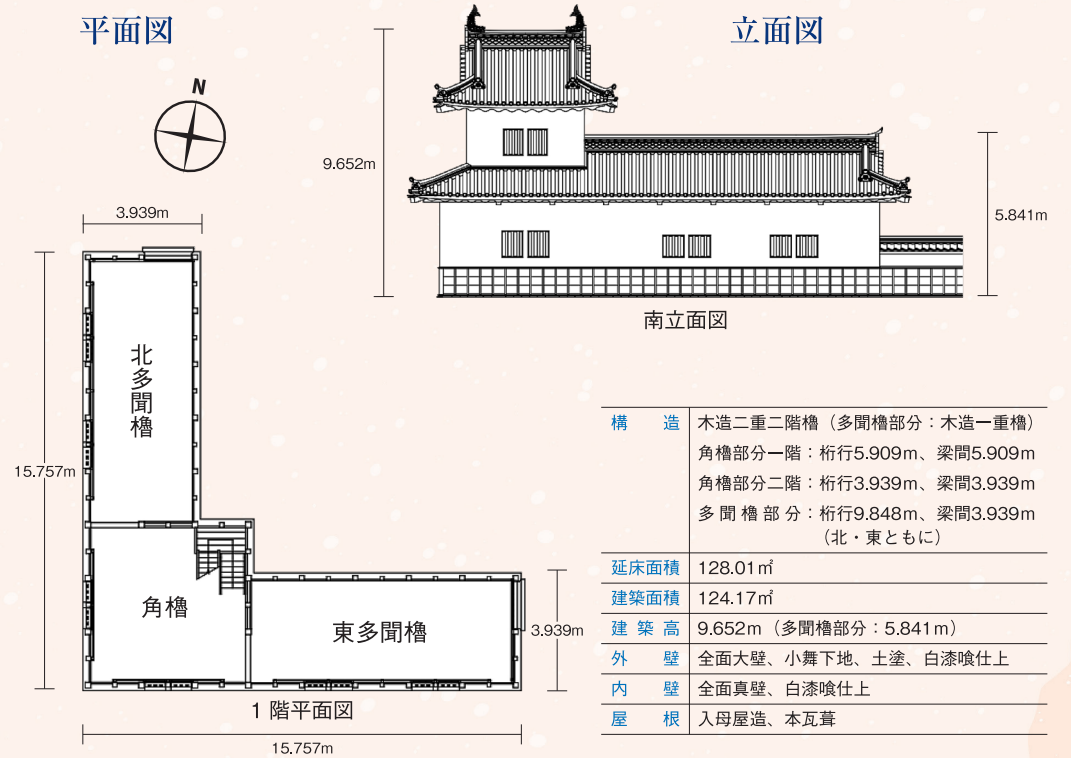
水戸城には 4 か所に角櫓がありました。下の丸の浄光寺門付近、本丸の南西角と北西角（月見櫓）、そして二の丸南西角の二の丸角櫓です。これらの角櫓は、城下町側（南側）にかたよって設置されていることから、城下から武士や町人が水戸城を見上げたときの眺望を意識して作られたと考えられています。



「常陸国水戸城絵図」 所蔵：国立公文書館

## ❖水戸城二の丸角櫓の概要

二の丸角櫓は、中央の角櫓と、北側・東側に接続する二つの多聞櫓で構成されています。

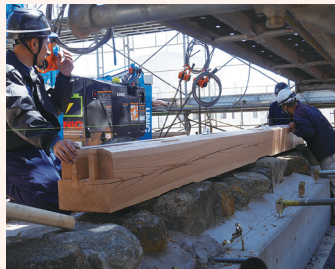


## ❖復元工事の流れ



### 1 基礎工事（礎石据付）

遺構保護のための盛土後、礎石の据付を行いました。二の丸角櫓から出土した礎石も一部使用しています。



### 2 木工事（加工）

職人が手作業で礎石の形状に合わせて木材を削り出す「ひかりつけ」と呼ばれる加工を行いました。



### 3 木工事（建て方）

加工した木材を組み上げます。土台はけやき、柱と梁はひのきを使用しています。



### 4 屋根工事（軒揚塗）

竹小舞と呼ばれる下地の上に荒土を塗りました。このあと漆喰で仕上げしていきます。



### 5 屋根工事（土居葺き）

野地板の上に薄く割った杉板を葺き重ねる「土居葺き」を行いました。この上に瓦を葺いていきます。



### 6 壁工事（外壁漆喰仕上げ）

外壁は柱が見えない全面大壁になっています。土壁の上に漆喰を塗って仕上げました。